

【報告】地球温暖化防止活動推進員誕生



新たに14人の地球温暖化防止活動推進員が誕生した

令和4年12月17日、新たに7団体14人が広島県から「地球温暖化防止活動推進員」の委嘱を受けました。今年度は、広島修道大学から1人の学生が委嘱を受けました。今後、若い世代への啓発だけでなく、就職活動の際の自己PR、社会人になった際にその経験を活かしてもらいたいと思います。

「新規推進員が企画・実施した事業」

- ①「マンヤのフボ」 「国兼川再生プロジェクト」 地元三次市に流れる国兼川の水質調査と、小学校と連携した環境学習会を実施。
- ②「脱温暖化ネットおんご」

「育て！共に取り組む地球温暖化防止活動」 長門島子ども推進員養成講座」 地域の推進員の高齢化に伴う事業継承を目的に、次世代を担う「こども推進員養成講座」を実施。

- ③「大崎上島けんこう文化の島づくり協議会」 「護美分別方法の指導及び周知」
- ④「一般社団法人パパレンド協会」 「環境問題について家族で考えるスタンパリアー」

子どもたちを対象に、家族と一緒に環境問題を考えたり、つかげくりを目的に、クイズ形式でスタンパリアーを実施。

- ⑤「Forward to 1985 energy life」 「省エネ住宅普及大作戦」

本場の省エネ住宅について知ってもらうことを目的に、住宅の断

熱化を中心とした勉強会を実施。

- ⑥「広島修道大学(一財)広島県環境保健協会」 「今日からできる『省エネ教室』地球にやさしく趣味を楽しもう！」 中高生を対象とした、座学と体験を含んだ学習会を実施。

新規推進員には、地域における温暖化防止のための普及啓発活動など、今後の活躍を期待します。

(脱温暖化センター ひろしま)

世間には多くの健康情報があふれ、次々と登場する新しい健康食品を目にすると、何か摂らなければいけない気分になります。

健康のために水を多く飲むことが推奨されていますが、



摂り過ぎに気を付けて 自分にとっての中庸を

過剰摂取は水毒の危険性があります。漢方で水毒とは水が体内に偏在している状態で、めまいや頭痛、耳鳴り、胃腸機能の低下、心不全などの原因になります。水分補給は大事ですが、気温や湿度、活動量などにより、必要な量は変わるので、喉が渇いていなければ無理に飲まなくてよいのです。

食べ物が胃に入って排泄されるまでには、多くの栄養とエネルギーを使います。腸内には免疫細胞の70%が集まり、病原菌や有害物質の体内への侵入を防いでいます。体に良い物を全部摂ろうとして摂り過ぎると、腸の免疫機能をはじめ、全身の組織に負担をかけて



しまします。漢方では、飲食物の停滞は病気の原因になると考えます。水毒の治療薬の五苓散(ゴレイサン)は、各組織の水の偏りを調整し、水分過多では尿量を増やし、脱水では尿量を減らす優れた作用があります。また五苓散は二日酔いの漢方薬として有名ですが、二日酔いにはグルタチオンも重要です。グルタチオンは全身の細胞にあり、解毒や活性酸素除去の働きをしています。現代人は食べ過ぎや他のさまざまな要因で活性酸素が過剰になり、グルタチオンも枯渇しやすくなっています。

漢方には中庸という考え方があり、多過ぎず少な過ぎず、ほどほどが良いとされています。健康のために、薬や飲食物を足し算で考えがちですが、時には引き算で見直すことも必要かもしれません。

(健康科学センター 診療所長 武生 英一郎)

フリマアプリで、3Rを始めてみませんか？

新年度や新学期が近づいてきました。フリマアプリは、再利用できる中古品を探したり、使わなくなったものを必要としている人に譲渡するときなどに便利です。

資源の消費やごみの発生を減らすこと(リデュース/Reduce)や、繰り返し使うこと(リユース/Reuse)、資源として再び利用すること(リサイクル/Recycle)を、合わせて「3R(スリーアール)」と呼んでいます。

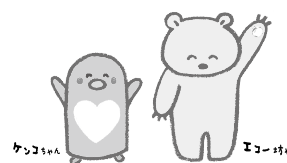
3Rの取り組みは、ごみを処理するときなどに発生するCO₂排出量の削減にもつながります。

環境省の「ゼロカーボンアクション30」では、物を捨てる時・増やすときに、「フリーマーケットで売る」、「シェアリングやサブスクリプション(定額料金による一定期間のサービス・コンテンツ利用など)を利用する」という選択肢を持つことを提案しています。

スマートフォンやタブレット端末で、左のQRコードを読み取り、COOL CHOICEに賛同をお願いします。

(脱温暖化センターひろしま・環境省)

令和4年度 地区衛生組織活動資金募集



通称 『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、令和4年度で63回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として、地域社会に役立てられています。

環境・健康募金 総額(円)

43,810,515円

(令和5年1月末現在)

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	1,208,800	91.1
海田町	1,980,000	88.0
熊野町	1,384,001	96.4
坂町	344,100	99.5
江田島市	1,681,310	99.2
竹原市	1,567,800	103.3
大崎上島町	294,900	97.5
大竹市	2,366,868	98.6
廿日市市	3,233,660	96.5
廿日市市大野	2,523,423	97.8
廿日市市佐伯	352,101	99.2
廿日市市吉和	51,900	115.1
廿日市市宮島	188,300	117.6
安芸太田町	668,100	97.7

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	1,001,850	96.5
安芸高田市	1,430,890	70.7
東広島市	4,289,608	97.1
三原市	1,580,792	104.8
世羅町	599,350	82.0
尾道市	4,280,900	99.8
福山市	8,277,310	97.7
府中市	1,030,392	98.9
神石高原町	0	0
三次市	1,200,000	51.2
庄原市	2,206,770	93.7
その他	67,390	96.8
合計	43,810,515	93.2

市町別一覧表

※この表は、令和5年1月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を記載しています。

環境協に配分された募金は、以下のような事業に活用しています。

【学習教材貸出事業】

環境づくりや健康づくりに関する各種グッズの貸出をしています。貸出グッズの一覧は、当協会ホームページからご覧いただけます。(http://www.kanhokyo.or.jp)

◆貸出グッズのご紹介◆

NEW 窓ガラス断熱体感ツール
数値だけでなく、実際に窓ガラスに触れることで、窓ガラスの種類による断熱効果の違いを体感できます。

